



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月4日

上場会社名 リリカラ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9827 URL <https://www.lilycolor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山田 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 石田 剛士 TEL 03-3366-7845
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	16,579	1.6	1,079	40.7	1,059	41.1	669	41.9
2022年12月期第2四半期	16,319	—	767	—	751	—	471	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。そのため、2022年12月期第2四半期の売上高については、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	54.45	—
2022年12月期第2四半期	38.38	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2023年12月期第2四半期	21,462	8,277	8,277	7,708	38.6	36.5
2022年12月期	21,094	7,708	7,708	7,708	36.5	36.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 8,277百万円 2022年12月期 7,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	14.50	14.50
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△0.8	1,250	△23.0	1,200	△24.6	700	△27.2	56.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	12,662,100株	2022年12月期	12,662,100株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	367,153株	2022年12月期	367,153株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	12,294,947株	2022年12月期2Q	12,294,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の様々な制限が緩和され、経済活動は正常化に向かいつつある一方、諸物価の高騰や地政学的リスクの高止まり等、先行きは依然として厳しい状況が続いております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数は、前年対比マイナス基調で推移しており、原材料価格の高騰等の影響が顕在化しており、先行きも予断を許さない状況となっております。

当社は、2021年12月期から2023年12月期までの中期経営計画「D a a S (ダース)」を策定し、新たなビジネスチャンスの取り込みと、事業構造の変革に取り組んでおります。

このような環境のもとで、当社の売上高は前年同期比1.6%増の16,579百万円、営業利益は前年同期比40.7%増の1,079百万円、経常利益は前年同期比41.1%増の1,059百万円、四半期純利益は前年同期比41.9%増の669百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① インテリア事業

壁装材は6月にホテル、商業施設、医療・福祉施設、オフィスや店舗など全てのコントラクト物件に向けた不燃ビニル壁紙見本帳“ウィル”を発行、カーテンは、5月に「Ready for your New Life」をコンセプトに、それぞれ異なる「こだわり」を持った人たちの「新しい暮らし」をより楽しく、より素敵に過ごすことができるようなアイテムをご提案する見本帳“サーラ”を発行、床材は、4月に住宅、非住宅問わず幅広く提案できる複層ビニル床タイル見本帳“エルワイタイル”を発行した他、壁装材見本帳“V-ウォール”、“らくらくリフォームプレミアム”、カーテン見本帳“アンドタイム”、床材見本帳“クッションフロア”等を増冊発行し拡販に努めましたが、売上高は前年同期比0.4%減の13,366百万円となり、セグメント利益は前年同期比18.8%増の939百万円となりました。

② スペースソリューション事業

ニューノーマルに対応したオフィス空間構築を検討する顧客企業に対し、顧客ニーズに寄り添った提案活動に注力し、堅調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同期比10.8%増の3,212百万円となり、セグメント利益は140百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は前事業年度末比367百万円増の21,462百万円となりました。

流動資産は前事業年度末比298百万円増の17,210百万円となりました。これは電子記録債権の減少(710百万円)等の減少要因はありましたが、主に商品の増加(612百万円)、現金及び預金の増加(227百万円)によるものであります。固定資産は前事業年度末比68百万円増の4,251百万円となりました。

負債総額は前事業年度末比202百万円減の13,184百万円となりました。流動負債は前事業年度末比108百万円増の12,136百万円となりました。固定負債は前事業年度末比310百万円減の1,048百万円となりました。これは主に長期借入金の減少(247百万円)によるものであります。

純資産は前事業年度末比569百万円増の8,277百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(491百万円)によるものであります。なお、自己資本比率は38.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、2023年2月10日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は、新型コロナウイルス感染症の今後の状況、原材料価格や物流コストの高騰等、様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2 四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,355,707	2,582,931
受取手形、売掛金及び契約資産	6,729,030	6,601,446
電子記録債権	3,828,160	3,117,329
商品	2,927,836	3,539,905
未成工事支出金	74,530	142,270
その他	1,004,366	1,236,440
貸倒引当金	△7,610	△9,732
流動資産合計	16,912,022	17,210,592
固定資産		
有形固定資産	1,324,044	1,345,047
無形固定資産	374,905	320,996
投資その他の資産		
差入保証金	1,419,249	1,464,619
その他	1,141,554	1,201,074
貸倒引当金	△77,012	△80,290
投資その他の資産合計	2,483,791	2,585,403
固定資産合計	4,182,741	4,251,447
資産合計	21,094,764	21,462,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,316,971	6,271,494
電子記録債務	2,149,562	2,534,156
短期借入金	388,300	836,900
1年内返済予定の長期借入金	551,299	517,479
未払法人税等	752,129	248,899
賞与引当金	311,011	315,556
株主優待引当金	2,393	—
工事損失引当金	380	—
その他	1,555,277	1,411,646
流動負債合計	12,027,325	12,136,133
固定負債		
長期借入金	937,048	689,278
退職給付引当金	187,239	163,250
資産除去債務	73,098	67,678
その他	161,892	128,187
固定負債合計	1,359,278	1,048,395
負債合計	13,386,604	13,184,529

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,500	3,335,500
資本剰余金	2,362,793	2,362,793
利益剰余金	1,956,543	2,447,719
自己株式	△60,585	△60,585
株主資本合計	7,594,250	8,085,427
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	113,909	192,083
評価・換算差額等合計	113,909	192,083
純資産合計	7,708,159	8,277,510
負債純資産合計	21,094,764	21,462,040

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	16,319,713	16,579,149
売上原価	10,627,514	10,579,796
売上総利益	5,692,198	5,999,352
販売費及び一般管理費	4,924,739	4,919,613
営業利益	767,459	1,079,738
営業外収益		
受取利息	512	508
受取配当金	6,188	7,145
不動産賃貸料	8,507	7,363
その他	5,779	3,803
営業外収益合計	20,987	18,821
営業外費用		
支払利息	6,835	7,096
手形売却損	5,401	4,654
電子記録債権売却損	12,993	10,703
不動産賃貸費用	10,817	9,877
その他	1,161	6,563
営業外費用合計	37,209	38,895
経常利益	751,237	1,059,665
税引前四半期純利益	751,237	1,059,665
法人税、住民税及び事業税	331,648	195,018
法人税等調整額	△52,301	195,193
法人税等合計	279,346	390,212
四半期純利益	471,891	669,453

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	751,237	1,059,665
減価償却費	37,768	45,260
ソフトウェア償却費	54,593	63,696
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,654	5,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	135,501	4,545
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,969	△2,393
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	380	△380
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△13,323	△23,988
受取利息及び受取配当金	△6,700	△7,654
支払利息	6,835	7,096
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,413,720	838,415
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△785,028	△679,690
未収入金の増減額 (△は増加)	108,498	△128,080
長期・前払見本帳費及び見本帳製作仮勘定の増減額 (△は増加)	△4,744	△264,822
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	△3,278
差入保証金の増減額 (△は増加)	△1,352	△2
仕入債務の増減額 (△は減少)	435,325	339,116
未払金の増減額 (△は減少)	54,514	△222,795
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△116,092	△243,391
契約負債の増減額 (△は減少)	△5,515	5,319
固定資産購入等支払手形の増減額 (△は減少)	174,164	322,457
その他	△17,852	9,938
小計	△606,828	1,124,434
利息及び配当金の受取額	6,204	7,158
利息の支払額	△6,801	△7,161
法人税等の支払額	△158,564	△681,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	△765,989	443,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,346	△101,698
有形固定資産の売却による収入	—	3,532
無形固定資産の取得による支出	△47,877	△9,970
投資有価証券の取得による支出	△4,718	△5,246
投資有価証券の売却による収入	—	120
差入保証金の差入による支出	△1,417	△70,707
差入保証金の回収による収入	2,734	25,339
その他	100	△216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,525	△158,847

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	900,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△436,800	△551,400
長期借入金の返済による支出	△251,393	△281,589
社債の償還による支出	△20,000	—
リース債務の返済による支出	△45,651	△47,103
自己株式の取得による支出	△12	—
配当金の支払額	△72,796	△177,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	73,345	△57,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△786,169	227,224
現金及び現金同等物の期首残高	4,014,775	2,355,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,228,605	2,582,931

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。